



第58回「おかねの作文」コンクール

特選 日本銀行総裁賞

ベトナムドンはどうして桁数が多いのか

神奈川県・慶應義塾普通部 3年 大谷 悠馬

この夏、僕は家族でベトナム旅行に行きました。初めてのベトナム旅行でとても楽しみにしていたのですが、成田空港で早速驚くことができました。旅行に必要なお金を両替したときに渡されたのが、なんと10万ドン紙幣や50万ドン紙幣だったのです。紙幣に「100000」や「500000」と大きく数字が書かれていて、まるで大金持ちになったような気分になりました。しかし父が「10万ドンはだいたい600円くらいだよ」「ゼロを三つ取って6倍すると良い」と教えてくれて、実際にはそんなに大きな金額ではないことが分かりました。たった600円なのにゼロが五つも並んでいるのは、とても不思議に感じました。

僕には1万円札が一番大きなお札だという感覚があります。だから「50万」という数字が書かれた紙幣を見たとき、思わず「これって何万円分なんだろう？」と混乱してしまいました。実際に計算してみると、50万ドンはだいたい3,000円くらいなのに、ベトナムでは「50万」と書かれたお札になる。どうしてこんなに桁数が違うのか、不思議に思いました。そこで父に聞いたところ、「ベトナムでは昔インフレが起きたからだよ」と教えてくれました。もともとコーヒー1杯が1,000ドンで買えたとして、インフレが進むと1杯1万ドンになり、さらに10万ドンになる。こうして物の値段が次々に上がっていくと、それに合わせて使うお金の単位も大きくなり、桁数がどんどん増えていくということです。

日本ではほとんどインフレを意識することはありませんが、もし日本で同じように物価が急激に上がったら、1本100円のジュースが1,000円になり、1万円になり、ということが起こるわけです。そう考えると、お金の桁数が大きくなるのは不思議なことではなく、むしろ当然のことだと理解できました。

旅行から帰国した後、僕はさらに気になってインターネットで調べてみました。すると「ベトナムドンはどうして桁数が多いのか？」という記事を見つけました^{注)}。その記事によると、ベトナムでは戦争や経済の混乱によって長い間インフレが続いたため、お金の価値がどんどん下がり、結果的に桁数の多い通貨になってしまったと書かれていました。現在ではベトナムの物価はある程度落ち着い

ているようですが、昔の影響で「ゼロが多い通貨」のまま残っているようです。この記事を読んで、僕はお金の価値というのは絶対的なものではなく、国の歴史や経済の状況によって変わっていくものだと知りました。僕たちが当たり前だと思っている「1円」や「100円」という感覚も、もし日本で大きなインフレや経済の混乱があれば、全く違う数字に変わってしまうかもしれません。

僕はこのことを知って「お金の桁数が大きいからといって、必ずしもお金持ちであるわけではない」ということに気づきました。たとえば日本で「100万円」と言えば大金ですが、ベトナムで「100万ドン」といえばわずか6,000円程度。数字が大きくても価値は低いことがあるということです。逆に、アメリカドルのように数字が小さくても実際の価値が高い通貨もあります。つまり、お金の「数字」や「桁数」よりも、その国の経済や物価の水準のほうが大事なのだということです。

今回の経験を通して、僕はお金について新しい視点を持つことができました。普段は当たり前のように使っている日本円ですが、その背景には経済の安定や歴史の積み重ねがあるのだと感じました。もし日本がインフレになったら、僕たちが今持っている1万円札の価値も一気に下がってしまうかもしれません。そうならないためには国の経済を安定させる努力が必要だし、僕たち一人ひとりも無駄遣いをせず物の価値を大切にしてお金を暮らしていくことが大事だと思いました。

ベトナム旅行では、美味しいフォーを食べたり、バンブーバスケットボート（竹でできた丸いお^{わん}碗のようなボート）に乗ったり、楽しい思い出がたくさんできましたが、その中でも「お金の桁数が多い」という発見はとても印象に残りました。旅行先でのちょっとした驚きから、お金の価値や桁数について考えるきっかけになったのは、自分にとって大きな学びでした。これからも海外に行く機会があったら、単に観光を楽しむだけでなく、その国のお金や文化の背景にも目を向けてみたいと思います。

(注)

phongnhaexplorer.com 「ベトナムドンの桁数はなぜ多いのですか？」

URL <https://ja.phongnhaexplorer.com/soj/%e9%8a%80%e8%a1%8c/%e3%83%99%e3%83%88%e3%83%8a%e3%83%a0%e3%83%89%e3%83%b3%e3%81%ae%e6%a1%81%e6%95%b0%e3%81%af%e3%81%aa%e3%81%9c%e5%a4%9a%e3%81%84%e3%81%ae%e3%81%a7%e3%81%99%e3%81%8b%ef%bc%9f.html#gsc.tab=0>

閲覧日 2025年8月20日